



わたうち

4月



自然観察～天沼公園～

新しい学年、学級で各教科等の学習が始まりました。学校の近くにある天沼公園は、各学年で学習の場としてよく利用しています。

2年生は、生活科で、春の様子を観察し、季節によって自然や人々の生活の様子が変わっていることに気づきました。

3年生は、理科「春の自然にとびだそう」で、春の生き物探しの活動を通して観察の基礎的技能の習得につなげ、これからの理科学習への期待と意欲をもちました。

4年生は、理科「あたたかくなると」で、春の生き物の様子に興味をもち、植物の開花や出現、動物の出現や活動を観察・記録し、今後1年間の変化について調べていく見通しをたてました。



綿打小学校校歌

今年も入学式で、6年生が、新入学児童と保護者の前で綿打小学校校歌を3番まで披露しました。

「南の風がやわらかに～」 「北風強くさすように～」 「泉の風が吹く里に～」 澄んだ歌声で、堂々と、しかも力強く歌っていました。

創立百周年記念「綿打小学校誌」(平成元年)によると、校歌が制定されたのは昭和57年11月17日。翌月の12月15日には、作詞者・作曲者をはじめ、町(新田町)の要職の方々にご臨席いただき、「校歌制定記念祝賀会発表会」が児童集会の形で行われたそうです。また、校誌には、作詞者と当時の校長先生におうかがいした、校歌が作られたときの話が載せられています。「校歌は、学校教育目標の次に大事な、外に向かって出す教育目標的なもの」「『学ぶのだ』『走るのだ』『生きるのだ』と自分の意志を歌わせたい」「『窓を開いて』は、自分の精神的な面までも積極的に出していくようにさせたい」など、校歌に込められた思いが記されています。

今年、綿打小学校創立130周年。伝統と歴史のある綿打小学校の校歌を、児童が、自信をもって、堂々と、元気よく歌えるように、充実した教育活動を進めていきます。



「新学習指導要領」のスタートに向けて

平成30～31年度は、移行措置期間で、平成32年度から完全実施となります。

(参考資料 教育ぐんま (群馬県教育委員会) 3学期号)

<新しい時代を生きる子ども達に必要な3つの資質・能力>

①知識・技能の習得 ②知識を使える力(思考力・判断力・表現力) ③自ら学ぶ姿勢

授業などを通して、物事をとらえる視点や考え方を鍛え、子ども達一人ひとりに未来の創り手となるために必要な生きる力を育みます。

<ポイント①> 学校と社会(家庭や地域)で子どもを育てる

これまで以上に学校と社会が連携・協働し、「よりよい教育を通じて子どもを育てていく」という目標を共有して子ども達に必要な資質・能力を育みます。学校教育目標の実現を目指し、授業や学校行事の中で保護者や地域の方々の方々の力を借りるなどの取組を一層進めていきます。

<ポイント②> 3つの学びを意識して授業を工夫する

子ども達の学ぶ意欲が自然と湧き、意見を交わしながら自分の考えを深めていく授業の実現を目指します。

主体的な学び～学びに興味関心を持って向かい、次の学びにつなげる

対話的な学び～さまざまな考えに触れることで自らの考えを広げる

深い学び～身に付いている知識をつないで、理解を深めたり、情報を取捨選択して新たな考えをもったりする

<授業が変わります>

英語教育の早期化・教科化 3・4年 外国語活動(週1コマ)、5・6年 英語科(週2コマ)

* H30年度(特例) 3・4年 外国語活動 35時間(総合 35時間) 5・6年 英語科 50時間(総合 55時間)

道徳の教科化 「特別の教科 道徳」の位置付け * H30年度から実施

教科書の導入、通知表に文章で評価(子どもの成長を認めて励ます応援の言葉)

プログラミング教育の導入

さまざまな教科の中でプログラミング体験の機会を増やすことで、論理的に考える力を身につけます。

平成30年度 全国学力・学習状況調査

4月17日(火)文部科学省による全国学力・学習状況調査が行われました。実施内容等は、次の通りです。8月下旬頃に結果が返されます。結果を分析し、課題を踏まえた授業改善や研修の充実、学習習慣や生活習慣の確立に向けた家庭との連携に取り組みます。

調査の目的: ◇義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る

◇学校における児童生徒への教育指導の充実や改善等に役立てる

◇そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する

調査対象 : 国・公・私立学校の小学校第6学年、中学校第3学年 原則として全児童生徒

調査内容 : ①教科に関する調査(国語、算数・数学、理科)

主として「知識」に関する問題(A)、主として「活用」に関する問題(B)

②生活習慣や学習環境等に関する質問調査

児童生徒に対する調査(学習意欲、学習方法、生活の諸側面等に関する調査)

学校に対する調査(指導方法に関する取組や人的・物的な教育条件の整備の状況等に関する調査)